

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【公表番号】特表2003-530452(P2003-530452A)
 【公表日】平成15年10月14日(2003.10.14)
 【出願番号】特願2001-575081(P2001-575081)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/12 (2006.01)
 B 3 2 B 27/12 (2006.01)
 B 3 2 B 27/20 (2006.01)
 B 3 2 B 27/32 (2006.01)
 C 0 8 J 5/18 (2006.01)
 C 0 8 K 3/04 (2006.01)
 C 0 8 K 3/22 (2006.01)
 C 0 8 K 3/34 (2006.01)
 C 0 8 L 23/06 (2006.01)
 C 0 9 D 5/32 (2006.01)
 C 0 9 D 7/12 (2006.01)
 C 0 9 D 123/02 (2006.01)
 C 0 9 D 123/04 (2006.01)
 C 0 9 D 201/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/12
 B 3 2 B 27/12
 B 3 2 B 27/20 A
 B 3 2 B 27/32 Z
 C 0 8 J 5/18 C E S
 C 0 8 K 3/04
 C 0 8 K 3/22
 C 0 8 K 3/34
 C 0 8 L 23/06
 C 0 9 D 5/32
 C 0 9 D 7/12
 C 0 9 D 123/02
 C 0 9 D 123/04
 C 0 9 D 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月8日(2008.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】溶融粘度(MFR₂)が0.5~20g/10分のポリマーを含んでいること、及び、0.05~0.5%の黒色顔料及び5~25%の白色顔料が該ポリマーに加えられており、該組成物がこれらの顔料により灰色に着色されて、可視光及びUV線を吸収するようにされていることを特徴とするポリマーをベースとするヒートシール可能な組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】該ポリオレフィンがポルスターテクノロジーを用いて製造されたポリエチレンであり、その密度が少なくとも 927 kg/m^3 であり、熔融粘度が $0.5 \sim 20 \text{ g/10分}$ 、好適には $1 \sim 15 \text{ g/10分}$ 、最も好適には $3 \sim 10 \text{ g/10分}$ であることを特徴とする請求項 6 に記載の組成物。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 15】光および UV 線からの保護を提供し、外見がアルミニウムホイルに似ている、包装板紙の上に塗布される ヒートシール可能なコーティング として、灰色に着色された請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の組成物を使用する方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上述の驚くべき観察は本発明の基礎となり、本発明により前記の包装材中の光及び UV 線の透過の有害問題は排除されることができると、解決策はポリマーをベースとする ヒートシール可能な組成物 であり、該組成物は押出又は共押出フィルム又はコーティングに特に適しており、該組成物は、熔融粘度 (MFR_2) が $0.5 \sim 20 \text{ g/10分}$ のポリマーを含むこと及び $0.05 \sim 0.5\%$ の黒色顔料及び $5 \sim 25\%$ の白色顔料が該ポリマーにブレンドされていて、それにより該組成物は灰色に着色されており、光および紫外線を吸収するようにされていることを特徴とする。